

農民労働者の権益保障と社会管理改革の考えについて

王国慶 史楓

寧夏大学経済管理学院

キーワード； 農民労働者 権益保障 社会管理

主旨；

わが国の工業化、都市化の進行が加速するに伴って、多数の農村過剰労働力が都市へ流入し、農民労働者群が形成された。規模が一億人以上を超えた農民労働者達は、都市の現代化建設に大きな貢献をしたにもかかわらず、都市に本当に認められたり、受け入れられなかった。彼らの権益はしばしば侵害され、保障すべきな権益が得られていない。農民労働者の権益の欠如と保障問題の研究は、農村過剰労働力の移転を速く進め、都市と農村との発展を調整し、調和社会づくりにとって重要な意義がある。従って、本報告は、農民労働者の権益保障と管理改革問題について検討してみたいと思う。

まず寧夏・銀川地区の農民労働者の現状に照らして、農民が受けている差別、権益侵害の現実の状況を分析してみた。伝統的な都市と郷の二元体制がともに存在することと現下の管理体制改革の立ち遅れなどで、農村過剰労働力の移転の抑制、就職への制限に至るものである。主に以下の方面に体现されている。

それは都市と農村との文化の違い、就職制限、給料の給付遅れ、児童の就学、労働保障、農民労働者の技能トレーニングと社会管理など九つの面での差別問題である。これらの問題に対し、本報告の第二部には農民労働者に合法権益を保護することを重点に提起し、社会管理改革の具体的な対策を提起する。農民労働者の都市への流入制限を取り消し、農民労働者の出稼ぎに行く就業手続きを簡易化し、農民労働者に対する無理な徴収費を整理整頓し、農民労働者の子供が義務教育を受ける権利を保障し、企業の雇用制度を完備し、農民労働者の仕事による怪我を保険範囲に組み込み、農民労働者の技能トレーニング費用を公的な財政から支出し、都市内の農民労働者の社会保障問題を解決するなどの十の方面についての対策を提出した。これらの操作性の強い対策を通じて、農民労働者の権益保障問題を解決し、公平な制度を実現し、根本から農民労働者の合法権益を守る。